

■会長/山田 文雄 ■幹事/小平 直史

◆司会=北川 和彦SAA、合田 敦子副SAA

◆ゲストビジター=諏訪グループガバナー補佐・篠原敏様、
諏訪ロータリーアクトクラブ・玉木祥大会長・土橋伸一郎幹
事・大槻僚大地区運営広報委員・瀬戸竜紀招待行事実行委員

◆会長告知・山田文雄君=今日はたまにはライトな話題から少し離れて、「ロータリーの奉仕の理念」とは何かを考えてみたいと思います。私たちは毎回例会冒頭でロータリーソングを歌っています。本年度に当クラブで歌う確率の高いものは「奉仕の理想」です。この奉仕の理想、The Ideal of serviceは日本ではその後、2012年に「奉仕の理念」と訳し直されています。つまりこの歌は「ロータリーの奉仕の理念」を冠したソングである事になります。奉仕の理想に集いし友よ…ではロータリーの奉仕の理想(つまり奉仕の理念)とは何でしょうか。それをあいまいに、分からずに歌っているのは少し面白くありません。おまけにです、毎年発行されるクラブ計画書の表紙の裏「ロータリーの目的」の中に次の記載があります、「…奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」更には目的の第3には「日々奉仕の理念を実践する事」第4には「奉仕の理念で結ばれた職業人が…」とありますが、肝心な「奉仕の理念」が何なのか、不思議な事にどこにも記載されていません。奉仕の理念が何かを知らずして、どうやってそれを実践できるのでしょうか。振り返ると今年6月エレクトの時、「奉仕の理念」とは何だろうと、ロータリーに関するいろいろな文献を調べましたが、何れもロータリーの奉仕の理念に付いて、はっきりと書いているものはなく、困って迷いに迷いました。迷っている中で源流の会というホームページを覗いていると、一つの文章に出会い、オッと注目しました。それは「人生を変えてくれた『ロータリーの奉仕の理念』』という越谷東 RC 青木伸翁さんの文章です。読み始めて暫くして求めていたものがそこにはあると感じました。青木氏は奥さんの病気と会社も大変な不景気の年にロータリーの会長を経験し、破れかぶれ状態の中、決議 23-34 に出会い、ロータリーは人がどう生きたら幸せになれるかという答えを訓えてくれていた、救われたと述べています。大事なところですので、もう一度繰り返します、決議 23-34 に出会い、ロータリーは人がどう生きたら幸せになれるかという答えを訓えてくれていた、救われたと述べています。全文を読んだ後に、ロータリー手帳の付録にある、決議 23-34 を読み直してみました。そこには先ずロータリーの人生哲学である奉仕の理念を社会の隅々まで広める事が社会奉仕であり、それが自らの幸せへの道である事、そして本丸のロータリーの奉仕の理念とは、どうやら我々のクラブ計画書の最終ページにある第1標語と第2標語であります。第1標語は、超我の奉仕、第2標語は、最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。とあります。残念ながらはっきり言ってピンと来ません。尚、青木氏は、この奉仕の理念を広める先を、社会に適用すれば社会奉仕になり、職業に適用すれば職業奉仕になり、世界に適用すれば国際奉仕になると解釈しているようです。次に、

この2つの標語は違うように見えて実はほぼ同じことを言っていると一般に言われています。第1標語：超我の奉仕 第2標語：最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。米山梅吉さんは当時、これを「Service第一、自己第二」と言い換えていました。この言い方なら両方の標語に共通しますので、第1標語と第2標語は、同じ内容とも言えます。「Service第一、自己第二」。第2標語のOne Profits Most Who Serves Best(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)はシェルドンスクールの教義をアーサー・フレディリック・シェルドンがロータリーに持ち込んだものですが、シェルドンは後にこれを「黄金律と同じことを言っている」と述懐しています。つまり、以上から(私見ですが)決議 23-34 に書いてある「ロータリーの奉仕の理念」は間接的に、黄金律そのものとも言えると思います。尚、黄金律とは昔から世界中の各地で言い伝えられている格言・金言で「Do unto others as you would have them do unto you」「あなたが他人からして貰いたいことを、先に他人にしてあげなさい」という事です。以前の告知「チャーターナイト」(大阪 RC が憤慨した副題「癩は3日たっても直らない」)の中に、京都 RC が発足したころの米山梅吉さんのロータリーの理念の解釈が載っていました。それによると「ロータリー精神は己の欲するところを人に施せというに尽きる」とあります。これは明らかに黄金律の事を指しています。従って米山梅吉さんの時代のロータリーの奉仕の理念は黄金律の事であり、これを世間に広める事がロータリーの社会奉仕であった訳です。ロータリーの奉仕の理念「あなたが他人からして貰いたいことを、先に他人にしてあげなさい」自分の中では、先ずここまでは理解出来ました。では今でもロータリーの奉仕の理念は「黄金律の事である。」と信じてよいのか。もう既に、それは古いのか。ここから先は、又の機会にお話ししたいと思います。尚、もし大きな解釈の間違いでもあれば、後日、私にこっそりと教えて下さい。今日の会長告知は以上とします。

◆幹事報告・小平直史君=①今日は篠原ガバナー補佐をお迎えしてのアクト合同夜間例会です。青少年奉仕委員会の皆様、よろしくお願ひ致します。②10月15日ロータリーデーに実施予定でした、諏訪湖クラブとの諏訪湖清掃ですが雨のため中止になってしまいました。ご参加予定の皆さま、ありがとうございました。③11月12日の松本での地区大会のご案内を送りしていますので、多くの皆さまのご参加をお願いします。

◆アクトの近況について●青少年奉仕委員会委員長・平林正光君=皆さんこんばんは。今日は、アクトクラブとの合同例会ということで、アクト会員の皆様には大勢出席して頂きまして、誠にありがとうございました。諏訪ローターアクトクラブは1981年に発足しまして、今年で32年目を迎えられるということです。発足当初、この2600地区には多くのアクトクラブがありました。現在は、2600地区にはアクトクラブが4つとなっております。諏訪ローターアクトクラブも会員5名ということで、以前に比べて少人数での活動となっております。諏訪ローターアクトクラブは玉本会長を中心に工夫をされて、他のアクトクラブとも連携をとり、大変有意義に活動されていると伺っております。この後、玉本会長からお話を伺うわけですが、アクトクラブの理解をより深めて頂きたいと思ひます。また、課題等もお聞きして今後、より一層アクトクラブの皆さんを応援していければ良いと思っております。

●**諏訪ローターアクトクラブ会長・玉本祥大君**＝本日はよろ

しくお願いいたします。まず諏訪ローターアクトクラブの活動報告をさせていただきます。今期のクラブテーマですが、「MOVE ON!!」とさせていただきます。コロナ禍でなかなか思うように活動ができない中で、止まってしまった活動も多くありました。それを少しずつでも動き出せるようにこのクラブテーマとさせていただきます。



続いて例会です。例会は基本的に月に2回行うようになっていますが、会員の休みの状況だったり、勤務形態も複雑だったりして、なかなか月2回の例会は行えませんでした。開催する曜日も昔は決まっていたのですが、今は曜日も決めていません。場所も元々は布半さんで行う予定でしたが、集まりやすい会議室を利用して参加者が多く集まれるような工夫をしています。まずアクトの大きな活動の1つとして、会長幹事会というものがあります。2600地区内の、4クラブの会長、幹事が集まり会議をしています。例年ですと、ホストクラブの地区で会場の準備をするようになっていたのですが、今年度より年4回行われる会長幹事会を、4クラブで回すようにしています。1回目は上田で行いました。先月実施した2回目は、諏訪ローターアクトクラブで行いました。続いて地区交流研修会というものを2600地区内で行いました。新人や現役アクター、そして今回は米山交換留学生の方にも参加して頂き、アクトについて理解を深めて頂くことができました。内容は、アクトに関するクイズや、出されたテーマに沿った奉仕活動を各自で考えて、グループディスカッションをして発表するというものを行いました。思い思いの奉仕活動があって、私たちもとても勉強になりました。また、アクトに対する意欲みたいなものもさらに増したと思います。続いて、今期のメイン行事である4クラブ合同招待行事というものを行いました。今季は、4クラブ合同でバーベキューを行いました。今回ホストが諏訪ということで、実行委員長の瀬戸君を中心に準備をして開催いたしました。内容は、肉や海鮮、野菜や果物を各クラブで分担して持ち寄り、当日食べるという内容です。また、各地域の地酒もそれぞれのクラブで用意して持ってきて頂き、みんなで食べて飲んで楽しむという交流をしました。諏訪ロータークラブの皆様にもご参加頂きました。愛知のローターアクターにも参加して頂いて、楽しく交流することができました。来期は、どのような形で実施するのかわかりませんが、楽しい招待行事を考えていこうと思います。ぜひ、諏訪ロータークラブの皆様もご参加をお願いします。続いて、10月15日に行われた、ロータリー奉仕デー諏訪湖ロータークラブとの合同諏訪湖清掃です。残念ながら雨のため中止となりました。しかし、諦めないのがローターアクトです。せっかく2人集まったので、雨も小雨になったところで、ゴミ拾いを2人で30分程度行いました。ゴミは、コロナ禍に私たちが行っていた諏訪湖1周ゴミ拾いの時よりも、少ない感じがしました。ゴミ拾いはとても良い活動だと思いますので、アクトとして、諏訪ロータークラブの皆様と一緒に続けていきたいと思っています。最後になりましたが、ローターアクトクラブの現在の会員数と現状についてです。当初は7クラブあったそうですが、現在は

4クラブだけとなっています。飯田、松本、諏訪、上田だけとなっています。現在の会員数は、飯田は7名。松本は4名。諏訪は5名。上田は6名で、会員総数が現在22名となっています。実際に活動に参加して頂けるのは半分の12名から15名くらいとなっています。行事を実施するにしても、なかなか人が集まらず、イベント内容も小さくなってしまいう関係もあり今回、合同招待行事というものを企画しました。ローターアクトの存続という意味で、厳しい時期が続いています。今は年齢制限も無くなっています。昔は30歳まででしたが、現在は35歳ぐらいまではオクケーとしています。また、環境改善として、個人負担分の交通費や、行事に参加した際の食事代等を減らすことをしています。コロナ禍で、なかなか会費も使用出来なかった関係もあって、会費を個人負担に補填しています。最後になりましたが是非、皆様の知人、ご子息、ご令嬢、どなたでも構いませんのでご紹介をお願いします。早足となりましたが、諏訪ローターアクトクラブの活動報告、以上となります。

◆**アクト合同例会**

◆**乾杯●諏訪グループガバナー補佐・篠原敏様**



◆**手に手つないで**



◆**最後は、北川和彦 SSA の音頭で万歳三唱**



◆**今後の例会日程**

10/27(金)	クラブフォーラム 図書寄贈報告
11/3(金)	法定休日
11/10(金)	クラブフォーラム ロータリー財団
11/11・12 (土・日)	2023-2024 年度地区大会